



専務 藤原 孝晴

藤 原孝晴さんは18歳のとき、お父様が経営する株式会社藤栄設備に入社しました。現在は専務を務めており、代表取締役であるお兄様とともに会社を切り盛りされています。専務となった今も現場に出ているという藤原さんに、仕事への思いや、みなさんへのメッセージについて伺いました。

初めて現場に出たときのことを覚えていらっしゃいますか。

もちろんです。現場の職人さんが、それぞれの分野で力を発揮していて、すごいなと圧倒されたのを覚えています。特に刺激を受けたのは、現場で指示を出す父の姿ですね。「家の中の父親」しか知らなかったの。その姿はしっかりと目に焼き付いています。仕事は大変なことも多いですが、そんな父の姿は今でも自分の励みになっていますね。父のことは、心から尊敬しています。

仕事をする上での苦勞はありますか。

ずっと家族と共に働いてきて、やはり身内と一緒に仕事をするのはとても大変だなと感じますね。お互いに、気持ちがとてもよく分かるので。例えば、身内だと言わなくていいことを言ってしまうと、逆に言うべきことが言えなかったりというのがあるんですよ。もちろん、良い面もありますけど。

最大の成果や自慢できることは何ですか。

それは「仲間」ですね。それが私にとっての誇りであり、自慢でもありません。みんなには、感謝の気持ちしかありません。仕事でも何でも、1人では何もできないので、お互いを尊重し合える良い信頼関係を築くように心がけています。20年前に現場で一緒だった職人さんと今でも交流があるのも、信頼関係が築けている証拠なのかなと。

「親しき中にも礼儀あり」という言葉がありますが、信頼関係を築くのに

大事なのは、その言葉に尽きますね。

お互いに気持ち良く仕事をするにはどうしたらいいのか、常に考えています。私たちの仕事はいろいろな人たちが集まって、一つの建物をつくっていく作業です。それぞれの思いもありますが、その中で相手とどう通じ合えるか。自分本位ではなく、お互いを気遣い、助け合いながら仕事をしていけたらいいなあと思うんです。

これまで失敗や挫折された経験はありますか。

失敗だらけですね(笑)。例えば天井の地墨を間違ったまま進行してしまい、一部屋丸々、やり直しになりました。たこともありますが、本当にたくさん失敗をしてみました。ただ、ミスをミスで終わらせず、毎回なぜ失敗したのか、原因を明らかにしてきましたね。確認も徹底するようにになりました。

人間なので100%完璧は難しい。ミスや失敗をしたら、そこから何をどれだけ学べるか。それが成長につながると思うのです。

今後の目標についてお聞かせください。

私たちの仕事は「縁の下の力持ち」的な仕事です。若い人たちも頑張ってくれているし、みんなにもっと活躍してもらうためにも、今後はこれまでしてこなかった分野の作業も受けていきたいと考えています。今、下請けさんがそのように動いてくれているので、一緒に輪をどんどん広げていくのが目下の目標ですね。今後、会社を発展させるために、いろいろなジャンルに挑戦していけたらと思います。

最後に、社員のみなさんへのメッセージをお願いします。

社長も私も、みんながついてきてくれて感謝していますし、心から「ありがとう」と伝えたいです。もちろん社員だけでなく、お弁当作りや洗濯など、彼らを支えてくれているご家族のみなさんにも、本当にありがたいと思っています。

同時に、ご家族やお子さんには申し訳ない気持ちもあります。無理を

企業情報

設立年：平成6年5月27日
年商：3億円
※2019年3月時点

働く1日に密着!

今回は工事課2課の赤星さんに、1日の仕事の流れや普段から心がけていることなどについて伺いました!



工事課 2課課長 赤星 秀典

今担当している現場について

医療関係の施設や、商業施設、宗教に関連する建物など、現在7つの現場を担当しています。各現場は躯体工事から内装工事完成するまで携わります。親会社から図面をもらい、エアコンや空調の位置を出します。後から現場に入る空調工事の業者の方がスムーズに仕事を行えるように段取りを行っています。それぞれの現場で業務内容が変わりますが、私が担当している現場は普段他社さんが担当しているような仕事など、少しレギュラーな内容が多いです。



とある1日の仕事の流れ

- 朝8時 出社&朝礼** この朝礼では仕事の流れを確認し、現場情報を共有します。
- 現地KY** 現場に危険箇所、作業で注意すべき点などを実際に現場へ赴いてから確認する作業です。
- 朝10時 各現場の仕事**
 - ・墨出し
 - ・インサートスリーブ
 - ・現場のバトロール
 - ・打ち合わせ
 - ・現場の安全衛生協議会に参加
- 17時 退社** (退勤時間は現場によっては19時の日もあります。)

- 【用語メモ】
- 「躯体工事」 柱、壁、梁、床、天井といった建物の骨組みを作る工事のことで、工期の中で最も時間を要する工程でもあり、建物の主要構造部を作る重要な工事。
 - 「内装工事」 建物内部の壁、床、天井の仕上げ工事を総称して内装工事と呼ぶ。
 - 「インサートスリーブ」 躯体工事の中に設備工事があります。電気、ガス、衛生(水道)、空調などの工事のことで、この設備工事を行う際に必要なのがこのインサートスリーブ。スリーブ工事とインサート工事をあわせてインサートスリーブと呼びます。
 - 「インサート工事」 天井から配管や配線を固定する際、吊り下げるためのボルトが必要です。このボルトを固定するための部品がインサート。コンクリート打設前にセットしておかなければならず、そのセッティング作業をインサート工事といいます。
 - 「スリーブ工事」 建物の基礎となる躯体に配線や管を通すために穴を開けます。主に梁や床に穴を開けるのですが、後から穴を開けるのではなく、コンクリートを打設する前から穴が空く様に張り型を入れる作業がスリーブ入れといわれる工事です。
 - 「墨出し」 建物の柱の中心線や床・壁の仕上げ面の位置など、工事の基準となる線を構造体などにするを指します。

リフレッシュ方法

現場の仲間と一緒に他愛もない話をしたりリフレッシュしています。現場の話もしますが、ほとんどは馬鹿話ですね。あと、昼休憩の時間は必ず昼寝をしています。この時間でエネルギーをチャージし、午後の仕事を乗り切っています。

仕事で心がけていること

どの現場でも「楽しく、でも抜かりなく!」がモットーです。楽しんで仕事をした方が作業も捗りますし、モチベーションも上がります。そのため、仲間とお喋りで適宜気分転換をしながら、作業は手を抜かずに行うよう心がけています。

退社後の過ごし方

たまに現場の仲間と飲みに行きます。直帰するときは、夜ご飯を食べてからぼーっとテレビを見て過ごしています。気づいたら夜中になっていて……だから昼寝が必須なのかもしれません(笑)

お気に入りの仕事道具

ミズノの安全靴ですね。軽くて丈夫なので、2~3年前から愛用しています。



期待している後輩社員

三浦、横瀬、清田の3人に期待しています。3人ももともと臨機応変に仕事ができる人たちです。みんな素直で、かつ自分を持っているので、今後の成長が楽しみです。



三浦さん

横瀬さん

清田さん

藤原専務 はどんな人?

前回の社長に引き続き、専務の印象をみなさんにお聞きしました!

仕事を丁寧に教えてくださる優しい方です。また力持ちで頼りになります。

横瀬 和紀さん

優しい方です。
小島 孝博さん

一緒にいると元気が
なります。
小川 雄司さん

作業員に対する気配りが上手です。
折居 晃さん

裏表のない公平な方です。
高橋 真嗣さん

現場を回り道具の整備や人員配置をする、会社の要のような存在です。
清田 海斗さん

仕事のことは何でも知っている方です。また一緒にお酒を飲んでいて楽しくなります。
木林 墨さん

多くの現場を動き回っている方です。
早川 貴英さん

話しやすい方です。
三浦 佳奈さん

良い方です。
ドヴァン ティエンさん
ゲンヒュウ ヒュウさん
レー スアン ファンさん

現代人というより戦国時代の武将のような印象を受けます。
金子 敏さん

優しく社員とすぐ打ち解けられる方です。
森田 恭丞さん

私と親しい方です。
ゲンヒュー マインさん

愉快的な親方!!
村田 浩一さん

仕事に対しては厳しい方です。
ファム ゴック フーさん

優しい方です。
ファン スアン アインさん

よく分からないです。
飯岡 富男さん



11月の誕生日社員

Happy Birthday

11月は1名の該当者が!おめでとうございます!

11月5日 木林 墨さん